

患者様情報

来院されるまでの症状

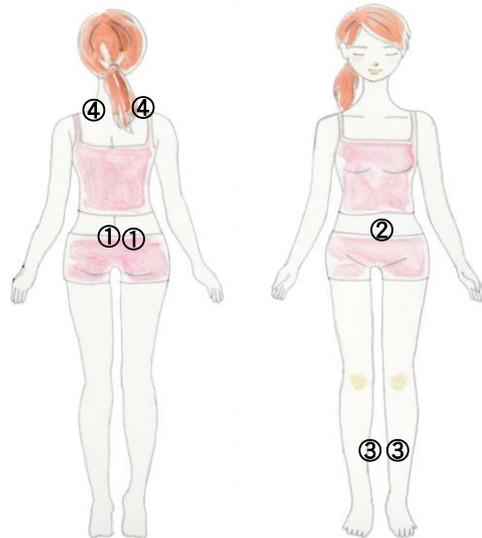
- ・仕事を始めてから生理痛がひどくなりました。
- ・動けないほどに下腹部の痛みが激しく、鎮痛剤を手放せないという悩みを抱えて、来院なさいました。

患者様	30代 女性
初診	2013年 3月
既往症	偏頭痛
他の症状	首こり、肩こり、下半身のむくみ

四診と経過

■ 診療（診断と施術）

- ・下半身の冷えと浮腫みが激しく、強い肩凝りから生じる冷えとのぼせの状態でした。
- ・はじめに、下半身の冷えを改善し、上下の気血のバランスを整える施術を優先させました。
- ・腰周りの冷えと下腹部の張りも強かったので施灸して温めました



■ 初診後の経過

- ・週1回のペースで来院していただきました。翌週の受診後には、生理時の痛みが緩和していました。
- ・週1回の受診を継続中です。
- ・足の冷えはほとんどなくなり、よほど疲労が重ならない限り、生理時の鎮痛剤服用は不要となっています。

使用した主要なツボ

- ①次髎(ジリョウ) ②関元(カンゲン)
③三陰交(サンインコウ) ④肩井(ケンセイ)

■ ひとこと添えさせていただきます

- ・生理痛で来院される方は、ほとんどの場合、冷え症を伴っていますので、冷えの解消によって痛みは軽減します。
- ・鍼灸は全身の血流をよくしますので、治療を継続させることで、体質が改善され、平均体温も上がってきます。
- ・妊娠しやすい身体づくりという意味でも、身体を温かく保つことはとても大切です。
- ・早めの、そして定期的で継続的な受診をお勧めします。